

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月26日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270500499		
法人名	社会福祉法人勲功会		
事業所名	グループホーム祥光苑		
所在地 (電話番号)	〒037-0092 青森県五所川原市沖飯詰字帯刀378番地 (電話) 0173-39-5080		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年11月12日	評価確定日	平成21年12月26日

【情報提供票より】(平成 21年 10月 15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	18人, 非常勤 人, 常勤換算 18人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	3,000 円	その他の経費(月額)	6,000~秋冬期16,500 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 900 円			

### (4) 利用者の概要(10月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 86 歳	最低	74 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	白生会胃腸病院、すとうクリニック、中嶋歯科医院
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園に囲まれた閑静な環境にあり、敷地には庭園が整備され散歩を楽しむ事ができる。入居者の要望に合わせた外出や地域行事への参加、買い物や外食など地域資源の活用や交流に努めている。毎月家族に便りを発行しながら、入居者の状態報告や相談をし、また家族からは助言や要望をいただく等、互いに理解と納得を図った上でのサービス提供がされている。職員の育成にも積極的で、内外の研修や勉強会に参加できる体制が整えられている。日々の申し送りで、ケアや支援のあり方を振り返り、入居者一人ひとりにとって安心・安全な日常生活が送れるよう取り組みがされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	管理者、全職員は自己評価及び、外部評価の意義を理解され自己評価に取り組んでいる。自己評価を行う事でケアの振り返りや気付いた点があり、改善点については、優先順位を決め、生活の質の向上の為に積極的に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	理念のあり方や地域交流について気付いた点があり、一つ一つ改善に向けて取り組むこととしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域住民の代表として地区民生委員、家族会代表者、市役所職員、市包括支援センター職員の参集を行い、事業所内外の活動内容や日常生活の報告、課題等の検討をしている。又、会議欠席者に対して議事録を送付する事で運営推進会議が単発的な内容とならず、後日意見を伺うなど地域、行政、家族、事業者が一体化となってサービスの向上に取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	毎月、入居者の状態についてや職員の相談したい内容を便りにし家族に配布する事で、気兼ねなく意見や、不満、苦情が言える様に家族との関係作りがなされている。アドバイスや要望については日々のケアに取り入れている。不満については対応で終わりではなく、発生要因を探り課題検討など取り組みがされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	近隣の小学校の行事の参加や商店等での買い物など日常的に外出の機会を設け、地域住民と交流する機会を持ちながら生活している。又、地域の方々が野菜等も持ってこられるなど交流がある。職員がキャラバンメイトとしての活動を通して、認知症の理解を深めると共に、認知症サポーター養成研修に向くなど普及活動が積極的に行われている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で再構築したグループホームの独自の介護理念があり、地域の中でその人らしく生き生き暮らすということの意味が確認される。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護理念そのものを形骸化せず、具体的にどの様に支援するか実践に向けて検討されている。又、理念の共有を図る為、朝、夕の申し送り時に理念を唱和し職員の意識付けがなされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の小学校の行事の参加や商店等での買い物など日常的に外出の機会を設け地域住民と交流する機会を持ちながら生活している。又、地域の方々が野菜等も持ってこられるなど交流がある。 職員がキャラバンメイトとしての活動を通して、認知症の理解を深めると共に、認知症サポーター養成研修に出向くなど普及活動が積極的に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者、全職員は自己評価及び、外部評価の意義を理解し自己評価に取り組んでいる。自己評価を行う事でケアの振り返りや気付いた点があり、改善点については、優先順位を決め、生活の質の向上の為に積極的に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域住民の代表として地区民生委員、家族会代表者、市役所職員、市包括支援センター職員の参集を行い、事業所内外の活動内容や日常生活の報告、課題等の検討をしている。又、会議欠席者に対して議事録を送付する事で運営推進会議が単発的な内容とならず、後日意見を伺うなど地域、行政、家族、事業者が一体化となってサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所だけで抱え込まずに、市担当者とは随時連絡を図りながら、運営上の相談や現状報告等で協議されている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在2名の入居者が日常生活自立支援事業を活用されている為、全職員が家族に説明できる様に、担当職員や研修者からの報告や申し送り、フロア会議で周知を図る等の取り組みがある。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所ごとに身体拘束廃止委員会を設置し、関連法について内部研修や勉強会を実施し理解の浸透を図っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居、退居の際には重要事項説明書、契約書に基づいて詳しく説明されている。入居者、家族の方々に理解して頂ける様に随時、相談も受け説明し、理解を得られている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の利用請求書と一緒に、各担当者から家族へ状況報告や医療状況について、又、相談等も含め生活状況が把握されやすい様に写真を添えた便りを送付し報告している。受診時の有無や状況報告は随時家族に連絡しながら行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族に便りを配布する事で、気兼ねなく意見や、不満、苦情が言える様に日頃から家族との関係作りがなされ、日々のケアに活かされている。苦情への対応で終わりではなく、発生要因を探り、課題を検討するなど取り組まれている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者の不安が少ない様に、職員の異動は極力避けている。採用に関しては、認知症の理解だけではなく、口調や人柄等も判断している。離職に関しても精神的ダメージに配慮できる様に支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の内部研修は毎月1回、その他に事業所内で研修係が企画する勉強会が2ヶ月に1回開催されている。職員の個々のレベルや希望に応じた外部研修への参加も多く、日常的に学ぶ機会を設けている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協会等に参加し、又、実習受け入れ施設となっている為、同業者や他事業者と交流や意見交換の機会があり、サービスの向上に活かされている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居の際は、ご本人と家族と一緒に見学等し入居に至っている。又、家族と相談、検討しながら、本人の性格や生活歴、嗜好等を把握し、ご本人のアセスメントを作成している。混乱や精神的負担を軽減する為、職員間で情報や声の掛け方を共有し安心して生活して頂ける様に取り組まれている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居されている方々が、その人らしさを発揮できる様に、趣味・生活歴を活用し農作業や料理(干し餅、干し柿作りなど)を活かせるよう働きかけている。将棋と一緒に指すなど様々な機会職員も一緒に作業する事で支えあう関係作りがなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの生活リズムに合わせて支援され、入居されている方々の思いを汲み取って出来るだけ外出や外食等の機会を設けている。又、買出しに行く際も職員から誘ったり、本人の意向を確認した上でサービスを提供している。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常的な関わりの中で、担当職員だけでなく全職員で気付きや意見、家族からの情報提供も取り入れながら、センター方式を活用し計画を作成している。カンファレンスノートや連絡ノートを活用しながら、周知を図り取り組んでいる。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な介護計画の見直しが行われている他、状態に変化が見られた際は、具体的にケアに活かせるようにカンファレンスノートや連絡ノートやヒヤリハットを活用しながら、臨機応変に見直しがされている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族会主催の豚汁会が年1回行われ、場所(中庭)の提供など、家族と職員が互いに協力し実施している。又、外出支援や家族と入居者が事業所内で一緒に食事出来る様に環境整備をされている。遠方の家族が来苑された際は宿泊もできる。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及び家族の希望を大切にし入居前から受診されていた、かかりつけ医を継続している。又、入居者の状態に合わせて2週間に1回に精神科医の回診がある。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人としての、重度化した場合における指針・看取りに関する指針に沿ってターミナルについて各職員で話し合いが行われている。実際に事業所でターミナルを迎えたケースは無いが、入居者の状態低下に伴い随時ドクターと家族、事業者と十分に協議し同意書を交わしながら、対応されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の使用範囲については、入居時に説明し同意を得ており、職員には法人の個人情報に関する基本方針を主に周知を徹底している。又、言葉掛けやコミュニケーション等についての勉強会や申し送り等で配慮した対応ができる様に取り組んでいる。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりがその人らしく生活できる様に意思や訴えを尊重し、その日の体調や希望に沿って外出や夕食後の入浴など支援されている。又、業務優先、職員の都合優先になってないが、申し送り等で振り返る機会がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、入居者と職員と共に会話をしながら、又、歌をかける等の食事を楽しむ雰囲気作りを工夫し支援されている。食事の準備、片付けも声掛けにて一緒に行われている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の希望や夕食後の入浴の希望される方にも対応し、入浴時間や回数等も配慮した支援がされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事や食事の準備、後片付け等役割や楽しみ事を得意分野で一人ひとりが発揮できる様に支援されている。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	行事やドライブ、事業所外への散歩の他、なじみの場所等へ外出を支援している。買出しの時に職員側から声を掛け一緒に外出するなど取り組みがある。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、内部研修やフロア会議等で弊害等について学習、周知を図っている。認知症の対応における言葉遣いやケアのあり方について日々振り返り、確認合っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全、安心の為に施鍵をしているが、鍵をかけることの弊害を職員が理解しており、日常的な場面や入居者の状態に応じて鍵をしない様に検討されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時・災害時対応マニュアル作成による周知や年2回の防災訓練、防災教育を実施し、地域消防団や町内会の協力も得られている。又、実際に停電時を体験した事を活かし非常食やカセットコンロ等の物品を準備している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士のカロリー計算した献立を参考にして農作業等で収穫した野菜を使用するなどアレンジして献立を作成している。入居者の嚥下状態に合わせて、身をほぐしたり食事形態を工夫されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人の感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針に沿って感染対策委員会を設置し予防や対応の取り組みがある。また、職員の検便を3ヶ月に1回実施し予防に努め、入居者の方々にはインフルエンザの予防接種を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースには、こたつやソファ、椅子が設置されている。時間や用途に応じて思い思いにリラックスして過ごされている。大きな窓からは十分な採光があり、居心地の良い空間となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活で使っていた馴染み物や好みの物を配置されている。家族の写真等を飾るなどして、それぞれ居心地がよい部屋作りになっている。又、冷蔵庫の持ち込みがあるため、清潔係りを設置し、2週間に1回掃除し持ち込みの物を点検し腐敗に気をつけている。</p>		

 は、重点項目。